

第 2 回 全国在宅医療会議	参考 資料
平成 2 9 年 3 月 1 5 日	11

# 重点分野に係る当面の具体的な取組み

平成 2 9 年 3 月 1 5 日



国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

*National Center for Geriatrics and Gerontology*

## 高齢者在宅医療に関する多職種協働の阻害要因を克服する教育システムの構築に関する研究(平成24～26年度)

- ・ 高齢者在宅医療の標準的教育カリキュラムを策定。
- ・ 策定に当たって職種ごとの視点を加え、多職種協働により教育資料を作成。

### [公表コンテンツ]

症候(老年症候群)別の問答を作成(認知症(79問)を公表)

<http://monowasure.org/ninchiw/qa/>

在宅DVD「はじめよう！在宅医療 ～今、医療の場は地域へ～」を作成

<http://monowasure.org/ninchiw/information/00000002/>

在宅拠点教育用パワーポイント集を作成

[http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/suisin/jinzaiikusei/h25/video\\_kougi1022.html](http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/suisin/jinzaiikusei/h25/video_kougi1022.html)

多職種協働を促すコンテンツである認知症・リハビリテーションをテーマとした領域別セッションを作成

<http://chcm.umin.jp/education/ipw/session/index.html#dementia>

## 病院スタッフが在宅医療現場を学ぶ研修会等の実施

### ・ 病院・在宅医療連携研修会

病院スタッフが在宅医療現場について知見を深め、また、在宅ケアスタッフが病院の機能を学ぶことで、円滑な連携、地域における医療提供体制の構築に寄与

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/suisin/zaitakusien/kensyu/h28/index.html>

### ・ 臨床研修医のための在宅医療研修

若い医師が将来在宅医療に取り組める契機となるよう、医師としての初期経験である臨床研修において良質な在宅医療の基礎を教授

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/suisin/zaitakusien/kensyu/h28/160821tyoju.html>

### ・ 地域包括ケアシステム構築に向けた研修(愛知県地域包括ケア相談体制整備事業)

市町村の取組み状況に応じて3タイプの研修会を開催し、各市町村がそれぞれの進捗段階に応じた必要な研修を選択

<http://www.ncgg.go.jp/zaitaku1/aichiken/h28/setumei.html>

### ・ 全国在宅医療・介護連携研修フォーラム

地域単位の在宅医療・介護連携のための多職種研修を推進するため、都道府県職員等を対象に開催

<http://chcm.umin.jp/education/ipw/network/index.html#2015>

## ・ 高齢者医療・在宅医療総合看護研修

高齢者の心身の特徴や取り巻く環境を包括的・全人的に理解し、医学的根拠や看護の専門知識に基づき高齢者医療・在宅医療に対応する実践的な看護師を育成

<http://www.ncgg.go.jp/kenshu/kenshu/documents/20160822.pdf>

## ・ 認知症サポート医養成研修、認知症初期集中支援チーム員研修

認知症にかかる地域医療体制構築の中核的な役割を担う認知症サポート医や、全市町村が設置し認知症が疑われる<sup>①</sup>・認知症の<sup>②</sup>・家族を訪問して、初期<sup>③</sup>援を包括的に<sup>④</sup>う多職種チームを養成

<http://www.ncgg.go.jp/kenshu/kenshu/27-1.html>

<http://www.ncgg.go.jp/kenshu/kenshu/27-2.html>

## ・ 在宅医療推進フォーラム

11月23日を「在宅医療の日」とし、在宅医療をさらに推進するためのフォーラムを開催。

<http://www.drnagao.com/img/lecture/zaitakuiryo20161123.pdf>

## ・ 被災地の再生を考慮した在宅医療の構築に関する研究

(平成25～26年度)

在宅医療の阻害要因を包括的に抽出し、被災地の課題と合わせ、解決への論点整理を行い、統合的在宅医療推進のノウハウの集大成を行った。

その一環として、在宅医療に関する研究論文から系統的レビューの手法を用いてエビデンスを抽出、集積することを試みた。

## ・ 「これからの在宅医療—指針と実務」の刊行

在宅医療に関わる者に有益なように、上記の研究成果に基づき、在宅医療の既存のエビデンスを集約した在宅医療構築普及マニュアルを刊行。

## ・ 在宅医療支援病棟を中心とした地域在宅医療の活性化(調査研究)

在宅療養支援病棟の開棟当初から6年間の入院患者のデータを用いて、在宅看取りや在宅療養継続の要因を分析する。

また、地域・病院の専門職向け、及び家族・介護者向けの研修プログラムを作成し、実施する。